



あまっまっまっ

Vol.
122

2021. 1. 1 (隔月1回1日発行) 編集発行：群馬県県土整備部都市計画課まちづくり室(企画推進係)



東吾妻町役場新庁舎



アガッタン



道の駅「あがつま峡」



紅葉の吾妻峡(鹿飛橋)



岩井親水公園の桜並木とスイセン畑



箱島湧水



東吾妻町のまちづくり

● 東吾妻町アクションプログラムについて

【トピックス】旧中山道ウォーキング2020 特別編

【連載】観光まちづくり最前線 地域を歩くレポート No.24

八代将軍・吉宗公の拓いた飛鳥山が、いま甦る～都市公園の新たな活用に向けて～

【投稿】(公社)街づくり区画整理協会三部会総会

マーチィ'sROOM

- マーチィに訊け まちづくりライブラリーからおすすめの一冊
- マーチィ VOICE ファシリテーター紹介
- マーチィの掲示板 令和2年度全国景観会議全体研修会に参加してきました!!

【まちづくりイベント情報】県内で行われるイベントの紹介

- マーチィの独り言



東吾妻町アクションプログラムについて

東吾妻町 建設課

■ 「ぐんま“まちづくり”ビジョン」と「アクションプログラム」について

「ぐんま“まちづくり”ビジョン」は、人口減少と高齢化が同時に進行する局面で、持続可能なまちづくりの実現に向け、市町村に今後のまちづくりを考えていただくことを目的に、現状や課題、今後生じる望ましくない状況を整理し、今後のまちづくりを進めるための方向性や、今後検討しなくてはならない項目を示したものになります。また、ビジョンや市町村が策定する「都市計画マスタープラン」等を踏まえ、人口減少・高齢化社会における市町村が抱える課題を解決し、「望ましい将来像」を達成するために必要な取組施策をとりまとめた実行計画が「アクションプログラム」になります。

現在、本町で策定している「東吾妻町アクションプログラム」のワークショップの状況をご紹介します。

■ 東吾妻町のまちづくりと課題

東吾妻町は、平成18年3月に旧吾妻町と旧東村が合併し、誕生しました。四方には高崎市、渋川市、中之条町、長野原町と接しており、町の真ん中には一級河川である吾妻川が流れています。米や菊、こんにゃく芋、豚、鶏卵などの農作物の生産が盛んであり、町の産業を担っています。しかし、少子高齢化や人口流出等により、農業の担い手が減少しており、農家の後継者不足や高齢化など大きな課題が生じています。

また、平成6年12月に、地域高規格道路「上信自動車道」の路線決定が行われ、現在、事業が進んでいます。おおよそ令和9年に当町分の路線は完成し、開通となる予定ですが、開通に伴い、通過交通の増加が危惧されており、いかに町に寄ってもらえるようにするかが今後の課題です。

平成31年1月、城の形をした旧岩櫃城温泉センターを改修し、役場新庁舎として移転をしました。住民の皆様に東吾妻町に誇りを持って暮らしてもらえるよう努めています。また、旧役場庁舎解体後、跡地の利活用を模索しています。住民主体の施設や町外の方も使用できるような施設など様々な案は出ておりますが、決定までは至っておりません。いずれにせよ住民の方に愛着を持って使用してもらえる施設となるよう、慎重に決めていかなくてはなりません。

東吾妻町では、平成31年3月に「都市計画マスタープラン」を新規策定し、都市計画の基本的な方針を定めました。町を5つの地区に分け、今後の少子高齢化・人口減少社会においてどのようにまちづくりを行うか、行政サービスを維持するためにはどのようにしていかなくてはならないのかを位置付けました。

少子高齢化や人口減少、上信自動車道による人の流れの変化など大きな課題と直面し、まちづくりの方法を見直す必要が出てきたことから、マスタープランの実現化の方策として、「東吾妻町アクションプログラム」の策定に着手しました。

■ 東吾妻町アクションプログラムワークショップについて

策定にあたっては、町の現状把握、問題点や課題の共有を行い、それを系統立てて認識するため、県と町の関係職員計19名を3班に分け、ワークショップを開催しました。委員構成としては、主事・主任クラスの比較的若い職員を中心に委員とすることで、柔軟で多様な意見を出し合えるようにしました。ワークショップは計3回行うこととし、現在までに2回ワークショップを行いました。

1回目のワークショップでは、現地調査を行い、まちの現状把握及び問題点や課題の共有を行いました。東吾妻町に関わりのある方、東吾妻町に初めて来た方など様々な目線からまちの現状や問題点を観てもらいました。その後、現地調査で感じたことをもとに現状の問題点や今後発生しうる問題を出し合い、問題点系統図を作成しました。問題点を見てみると、普段住んでいて感じている問題はもちろん、普段感じていない外から観た町の問題など



現地調査の様子



様々な意見が出ました。2回目のワークショップでは、作成した問題点系統図を踏まえ機能系統図をまとめることで、出し合った課題や問題点を解決するために、なにが必要なのか、どうすれば解決できるのかを明確化しました。そして、その必要な機能をどのような施策で実現していくのかアイデア出しを行いました。実現できるかどうかは考えず、思いついた意見を出し合うことで、夢のある柔軟なアイデアが数多く出ました。



ワークショップの様子

■ ワークショップから見てきたこと

ワークショップを行い、問題点系統図と機能系統図の作成を行いました。そこで見てきた東吾妻町の課題として、「空き家・空き店舗が多く、町に活気がない」「高齢者が多く、若者が少ない」「人口の流出が多い」等の人口減少が原因となる問題が多く挙がりました。当町の人口は、現在13,000人程度で推移しており、合併後の平成18年と比べると3,000人程度減少しています。東吾妻町としても現在の状況に危機感を持っており、第2次総合計画の中でも人口の将来展望としまして、2040年における人口1万人の維持を目指しています。



各班発表の様子

問題の解決策となる機能としては、「移住・定住を増やす」「住民の観光意識を高める」「地域のコミュニティを高め、自助共助のまちづくりを行う」等の機能が挙げられました。移住・定住につきましては、他県での移住相談会の開催や移住者・定住者に対して住宅取得に係る費用の一部補助などを行っております。数多くの方に利用していただいておりますので、今後も事業を継続し、補助の拡充についても検討する必要があると感じました。地域コミュニティの向上や自助共助のまちづくりにつきましては、地域・地区のつながりが希薄になりつつある昨今の状況を踏まえ、行政主体のまちづくりではなく、住民主体のまちづくりを行い、それに対し、行政が補助や助言を行う必要があると感じました。行政主体では、住民は当事者意識を持たず、受け身になってしまい、それが結果として、地域コミュニティの低下になると考えます。そのため、行政と住民が協力し、まちづくりを行うことで、住民にとって暮らしやすいまちになると考えています。

■ 写真で見る東吾妻町トピックス



再開発を検討している
JR群馬原町駅南側



解体作業が進む役場旧庁舎跡地



区画整理を行ったJR群馬原町駅北側



建設作業が進む上信自動車道
吾妻西バイパス工事風景



供用開始となった上信自動車道
祖母島～箱島バイパス



八ツ場ダム(下流側より)





旧中山道ウォーキング 2020 特別編

安中市 観光課

旧中山道ウォーキングは、安中市と上毛新聞社が毎年実施しているウォーキングイベントです。信越本線新線が1997年に横川～軽井沢間で廃線となったことから、碓氷峠の魅力を見直すために始めました。

2020年においては、新型コロナウイルス感染症拡大により、多くのイベント等が中止となっていることから開催が危ぶまれていましたが、例年とは異なるコース設定で三密を避ける為にバス利用を行わない等工夫をこらし、徹底した新型コロナウイルス感染症対策を講じることにより、実施することができました。今年は特別企画として「松井田城址見学コース」、「廃線&アプトの道コース」の2コースを開催しました。

■ 松井田城址見学コース

このコースは、安中市役所松井田支所を出発し、西松井田駅、国道18号沿いを通過し、松井田城址入口から山城を巡ります。松井田城址は、鎌倉幕府5代執権北条時頼の命により築城され、1590年の小田原征伐(北条征伐)で落城した山城です。戦国時代には織田氏や後北条氏などが支配をしており、関東の支配における重要な山城であったといわれています。山城としては県内最大級の規模をもち、多くの見所があります。参加者は6班に分かれて時間をずらして出発しました。それぞれのグループに松井田城址保存会のガイドが付き、城址を解説しました。県外からの初めてのお客様も多く、松井田城の存在を知っていただくとても良い機会となりました。

■ 廃線&アプトの道コース

このコースは、峠の湯を出発し、普段は非公開の旧丸山変電所の公開と解説、廃線となった旧信越本線新線の1～3号の廃線トンネルや普段見ることができないめがね橋の裏側を通過し、旧熊ノ平駅、めがね橋を巡り、峠の湯に戻るものです。廃線路は普段は立ち入ることができず、レールの上やトンネルの中を歩くことは貴重な体験です。このコースも解説付きのため、参加者は廃線路を歩きながら鉄道の歴史などを学べます。右の写真のとおり、トンネルから出ると鉄橋があり、鉄橋からは紅葉が見頃の碓氷峠や裏側から見るめがね橋等絶景を望むことができます。参加者からは「紅葉の時期と重なり楽しむことができた」などの意見をいただきました。また、当該コースを選んだ理由として「廃線を歩いてみたかった」という意見も多く、好評でした。

今回は特別編ということで例年とは異なる形で実施をいたしました。ガイドの皆様にご協力いただき、参加者からは両コースとも非常に多くの高評価をいただきました。



松井田城址見学コースウォーキング風景



松井田城址見学コース解説風景
提供元:上毛新聞社



廃線&アプトの道コース トンネル内
ウォーキング風景 提供元:上毛新聞社



廃線&アプトの道コース
鉄橋ウォーキング風景 提供元:上毛新聞社



八代将軍・吉宗公の拓いた飛鳥山が、いま甦る ～都市公園の新たな活用に向けて～

帝京大学 経済学部 観光経営学科 大下ゼミ

2020年は新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、身近な生活に目が向いた1年でした。先輩方がvol111号とvol117号で報告した東京都北区の飛鳥山公園で三密を避けたイベントが開催されました。今回はそのイベントの体験をレポートします。

■ 八代将軍の観光政策によって拓かれた飛鳥山での新たな取り組み

八代将軍・吉宗が改革を進める中で、庶民の楽しみのために江戸市中から2里(約8km)の4カ所に観光地を創った中の一つが飛鳥山です。桜を1270本植えて一般公開し、さらに地元住民の商いを奨励しました。当時は上野の寛永寺・向島(墨堤)と共に江戸の桜の名所になりました。また、明治6年には上野公園・芝公園・浅草公園・深川公園と共に日本で初めて公園に指定されました。現在は渋沢栄一の別荘であった「晩香廬」や「青淵文庫」、「飛鳥山博物館」・「渋沢史料館」・「紙の博物館」の三博物館等があり、人々の憩いの空間となっています。

平成29年には都市公園法が改正され、公園内でのカフェやレストランなどの施設整備が可能となりました。今年の大河ドラマや2024年度の紙幣の肖像画変更による渋沢栄一翁が注目されることで、飛鳥山公園もクローズアップされるのが期待されます。



浮世絵に描かれた江戸時代の飛鳥山の姿
歌川広重「江戸名所図会・飛鳥山」



渋沢翁が愛した食を再現。屋外での生演奏の中で本格的なコース料理が提供されました。公園の新しい活用として期待されます！

■ 公園内で本格的な野外レストランを試験的に実施

コロナ禍で開催が懸念されていましたが、2020年10月30日(金)からの3日間、飛鳥山公園内にある「日渋沢庭園」で『Shibusawa Garden Special Holiday』が開催されました。もちろん注目を浴びようとしている渋沢栄一翁を題材としたものです。

昼にはキッチンカーが複数出店し、多くの人で賑わっていました。ソーシャルディスタンスのしっかりとられたテーブルで、普段とはひと味違った優雅なランチを満喫できました。

夜はライトアップされた渋沢庭園にて生演奏を聴きながら、コース料理が振舞われました。このコース料理は渋沢翁がたびたび会食に訪れたといわれる「上野精養軒」の渋沢翁に関連した料理です。渋沢翁の庭園で、渋沢翁の好んだ料理を食べることができて、まるで自分が渋沢栄一になったような気分を味わうことができました。

■ 「地域めぐりすごろく」で子ども達も渋沢翁に関心を寄せる取組を

“遊びながら学ぶこと”ー子ども達の興味・関心を惹く基本です。子ども達にもっと渋沢翁に関心を寄せてほしいと考え、地元の滝野川第三小学校の協力もいただき「渋沢栄一でまち歩きワークショップ」を2020年12月5日に開催することとなり、その企画に参画する機会を得ました。

ワークショップでは飛鳥山公園内にある博物館、渋沢翁関連の晩香廬等の散策・見学の後、すごろく遊びで学びを確認してもらおう構成としました。地域学習ツールとして飛鳥山公園を中心に渋沢関連施設や周辺の施設をマスにした「渋沢すごろく」を試作しました。

公園や博物館などで学んでもらったことをどのようにしてすごろくで遊びながらアウトプットさせるかにとっても悩みました。最終的には渋沢翁や飛鳥山に関するクイズをマスに配置し、子どもたちがメモしてきたものをもとに答えてもらう形になりました。「渋沢すごろく」の試作品が完成し、試しに私たちで遊んでみたところ、とても盛り上がり楽しむことができました。イベント当日も、参加した33人の子ども達は楽しみながら学んでいました。もっと多くの子ども達にも楽しんで学んでもらいたい……是非このすごろくを商品化していただきたいと思います!!

(高山晶光・栗田律子・石山千寛)



私たちが試作した「渋沢すごろく」。子どもたちの興味・関心を惹くように努めました！



渋沢翁と緑のある飛鳥山を探索の後、小学校の体育館でもつグループですごろく遊びを通じて、学んだことを確認しました。



(公社)街づくり区画整理協会 三部会総会

群馬県 都市計画課

(公社)街づくり区画整理協会は、土地区画整理事業に関する調査・研究等を目的とした全国組織であり、本協会の組合土地区画整理事業に係る機関として「三部会」が設置されている。令和2年度三部会総会に出席したので報告する。

■ 三部会総会

1. 日時 令和2年11月13日(金) 16:10~17:55
2. 場所 神戸市産業振興センター(兵庫県神戸市)
3. 概要

◎開会あいさつ 三部会会長 井草弘幸氏(群馬県土地区画整理組合連合会会長)

都市整備の重点は、社会経済構造や人口構造の変化の中で、新市街地から既成市街地へと移行してきているが、「まちづくり」の代表的手法である土地区画整理事業の役割はいささかも変わることはない。なかでも、地域の方々が一体となって自分たちの手でまちづくりを進める組合事業の役割はさらに増してくると思われる。

区画整理による街づくりを次の時代へ引き継いでいくためにも、本三部会総会を契機とするものとしていただき、少しでも皆様方の組合の経営改善に役立てたい。

(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため群馬県庁からリモート)



井草会長あいさつ

◎講演『まちの持続可能性を高める土地区画整理事業』

興亜興産(株) 代表取締役社長 川村 光世氏

当社は大阪府北東約10kmに位置する門真市域において、昭和52年から土地区画整理組合事業に携わり、既成市街地における密集対策、新市街地でのまちづくり等での事業支援を行っている。新市街地では、まちの将来像を地権者へ提案しつつ集客の核となる大型商業施設を共同土地利用事業(梯子型換地)で配置、また法的な建築協定せずして街並み景観を統一するなどを行った。

梯子型敷地の共同土地利用と大規模用地(大街区)形成のメリットとしては、大街区の創出により区画道路が減少し、公共減歩及び道路整備費(保留地減歩)が低減する。また、土地の形状が間口狭小・奥行長大のため、土地の評価減(相続評価)などが挙げられる。

まちづくりの初動期から将来を見据え、権利者・行政・出店企業各々のニーズに合わせた事業展開により、持続性のあるまちづくりに貢献したいと考えている。



川村氏講演

◎講演『赤穂市の土地区画整理事業(組合施行)について』

赤穂市建設部区画整理課 係長 山家敬一郎氏

本市は兵庫県の南西部に位置し、総面積12,688ha、人口48,000人、播磨灘と千種川の清流にはぐくまれ、古い歴史と伝統をもつ、義士発祥のまちである。

市内の土地区画整理事業施行地区は13地区470.2ha、内組合施行地区は6地区、面積178.7haで、その内現在施行中地区は、浜市地区22.2ha、野中・砂子地区 45.2haの2地区である。

浜市地区は、移転補償・道路整備率100%、保留地処分率78.2%の進捗であり、主な特徴は、3つの幹線用水路(開水路)を暗渠化することによる道路用地の確保している点が挙げられる。

また、野中・砂子地区は、移転補償66.6%、道路整備率88.9%、保留地処分率19.5%の進捗であり、お主な特徴は、防災公園機能を備えた約2haの野中・砂子公園の整備が挙げられる。

両地区で、保留地の処分(販売)が進まないという共通課題があり、地域紙への広告掲載、保留地販売促進イベントの開催等の取り組みを行っているところである。



山家氏講演

◎全国土地区画整理組合連合会連絡協議会要望活動報告

群馬県土地区画整理組合連合会 事務局 石田(県 都市計画課)

・井草会長の代理として、今年度の要望について、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、要望書を関係国会議員及び国土交通省へ提出のみとすることや、その内容は組合土地区画整理事業の確実な事業促進が図られるよう、令和3年度予算において、所要額を確保することとしている旨を報告。

※本連絡協議会は三部会の活動(主に要望)組織として平成19年度から活動しており、本県は平成30年10月から事務局を行っている。



石田報告



マーチィ's ROOM

マーチィに訊け!

まちづくりライブラリーからおすすめの一冊 県都市計画課で貸し出しできます!
「三宅島観光白書 三宅島学」 著:大下茂 大森哲至



今号のおすすめ
ライブラリーこちら!



「火山との共生」をしながら観光産業の発展をしてきた三宅島の歴史と体験を「地域版の観光白書」として1冊にまとめられています。

三宅島を含む伊豆諸島は、1970年代から80年代にかけて離島ブームが到来し、伊豆諸島全体への観光入込客数は、100万人を超えていましたが、2000年の三宅島の噴火の後に減少し、近年では40万人前後で推移しています。そのうち、島ごとでみると三宅島は第5位となる7.6%の観光客が来訪していますが、ピーク時と比較すると三宅島は、ほかの島に比べて回復が遅れています。ブーム以降の離島では、次の集客の糧になるものを発見・創造していかなければならない時代になっています。

本書では、三宅島固有の特徴がたくさん紹介されています。地域を魅力的なまちにするには、かたちあるものばかりではなく、地域に眠っている独自の資源を活かして、地域の外からたくさん人が訪れる、魅力あるまちをつくらなくてはなりません。まちづくりに重要な、「集客・観光まちづくり」という視点から読むことができるので、ぜひご一読ください。

マーチィ VOICE

●ファシリテーターの紹介●

館林市都市計画課 初澤 一樹



初澤 一樹さん



講座の様子

令和元年度に群馬県ファシリテーターの認定を受けました館林市都市計画課の初澤です。

研修に参加するまでそもそもファシリテーターとは何なのか、何をやるのか全く知識が無く、また私自身入庁して1年目での研修参加だったため、非常に不安でした。他の自治体の方とお話する機会もほぼ初めてであり、緊張しておりました。

研修では5~6人のグループに分かれ、それぞれリーダーやタイムキーパー、模造紙作成等役割を持ち各課題について検討を進めて行きますが、この役割に非常に難儀しました。役割はグループが変わる度に変更になりますが、その役割を熟そうと意識していると課題検討に対する意見が中々出せず、今度は意見出しに熱中してしまうと自分に与えられた役割を忘れてしまう事もありました。自分の考えを持ちつつ他の方の意見を引き出す事、それに対してどうアプローチをしたら良いのかを学ぶことが出来ました。

グループで行う研修の中で一番印象に残っている事として、出た意見に対して否定をしないという事です。一見話し合いの場で当たり前の事では思いましたが、例えば一度出した意見に対して否定されてしまうと、その方が他の課題検討で良い内容を思いついても、また否定されるのではと、中々言い出し難い雰囲気となります。実際のワークショップでは声の大きい方、小さい方、知識が有る方、無い方、老若男女問わず様々な方が集まります。参加された方に対して、ファシリテーターとして発言しやすい雰囲気を作る事、その課題に対してどう考えているのかを言いやすい環境を設ける事が重要であると考えています。

大下先生、市町村職員の皆さま、事務局の皆さまのおかげでとても有意義な研修を受けることができました。この場をお借りしてお礼申し上げます。ありがとうございました。

※パートナーネットワーク講座は令和元年度で終了しました。

マーチィの掲示板

令和2年度全国景観会議全体研修会に参加してきました!!

皆さん、こんにちは。マーチィです。

10月22日(木)・23日(金)に、高知県四万十市で行われた「令和2年度全国景観会議全体研修会」に参加してきました。

この研修会は、全国景観会議の会員が一同に集い、良好な景観形成に関する知識の普及、情報の交換を行い、担当者の専門的知識を深める。また、景観形成に関する事例を視察し、今後の景観行政に活用するために毎年開催されているものです。

高知工科大学の重山教授をはじめ、学識者の方々から貴重なご講演を頂き、どれも高知県の風景・文化が色濃く反映された内容で、県内で見受けられる取組とは違った地域の特色が見て取れて興味深かったです。

例えば、四万十川は、鮎や天然うなぎ、テナガ海老などの漁が盛んで、青海苔の産地としても有名です。また、カヌーやキャンプまた川を横断するジップライン等、アウトドアの場としても人気で、地元の生活に溶け込んでいます。沿川の市町は、そうした自然や文化的な営みを掘り下げ、川を中心とした景観計画を策定し、景観形成を図っていました。来訪者がイメージするような風景があるからこそ、観光が成り立つといった話もあり、学ばせていただきました。



欄干のない沈下橋、車両も通行可



カヌーなどアウトドアも人気



※新型コロナウイルスの影響により開催中止、延期の場合があります。予めご了承ください。

おしらせ

「歩道空間オープンテラス」 社会実験の実施期間を延長します！

本誌でも以前紹介させていただきましたが、今年の7月から、新型コロナウイルス感染症の影響を受ける飲食店等の支援及びまちの暮らしを安心して楽しめる環境づくりとして、県管理道路の歩道空間を飲食店等のテラス営業に利用していただく「歩道空間オープンテラス」社会実験を実施してきました。当初、実施期間を11月30日(月)までとしていましたが、このたび、令和3年3月31日(水)まで延長するとともに、社会実験に参加する飲食店等を新たに募集します。

取り組みに応募した飲食店等に対し、道路占用申請手続き等について、県が引き続き支援を行います。なお、実施期間中は、道路占用料が免除となります。

社会実験に参加希望の店舗がありましたら、下記応募フォームから応募ください。



- 記
1. 実施期間 令和3年3月31日(水)まで
 2. 募集期間 令和3年2月15日(月)まで
 3. 対象者 商店街組合等の団体、飲食店等(1店舗単独で応募可能)
※ただし、1店舗の場合は、自店舗前の活用を原則とします。
 4. 対象路線 県管理道路において、占用後に2.0m以上の歩行空間を確保することが可能な区間。※歩行者が多い箇所は、3.5m以上の確保が必要です。
 5. 応募方法 社会実験用のWEB応募フォームから応募
 6. 問い合わせ先 群馬県都市計画課まちづくり室企画推進係
TEL:027-226-3661



沼田だるま市

だるまなどの縁起物を商う露店が並び、大勢の人で賑わいます。午後には須賀神社でだるま供養が行われます。

■1月16日(土) 12:00~19:00
■須賀神社境内・社務所北側広場
【お問い合わせ先】
沼田商工会議所
TEL 0278-23-1137



わたらせ渓谷鐵道各駅イルミネーション

沿線各駅が趣向を凝らしたイルミネーションで皆さまをお迎えます。

■2020年12月6日(日)~2021年2月28日(日)までの毎日

17:00から各駅最終列車通過まで

■わたらせ渓谷鐵道・
桐生駅~間藤駅間の全17駅
【お問い合わせ先】

わたらせ渓谷鐵道株式会社
TEL 0277-73-2110



チャリティ・グラウンド・ゴルフ大会 in 桂萱

骨髄バンク啓発のGG大会。参加費は県協議会に寄付します。

■1月20日(水)及び1月23日(土)

20日は9:00~15:00、
23日は13:00~15:00

■桂萱中学校第2グラウンド
【お問い合わせ先】

同実行委員会事務局
TEL 027-261-0111



《写真は昨年度の練習会の様子》

帝京大学 経済学部 観光経営学科
Faculty of Economics Department of Tourism Management

幅広い教養、豊かな国際感覚、確かな専門知識と行動力をあわせ持つ人材を育成します。

- ・観光産業を経済学、経営学の流れの中で学ぶ。
- ・旅行業務取扱管理者資格取得に向けて、万全のフォロー体制。
- ・実地で旅行業務が学べる「実習授業」が豊富。

入学試験情報	出願期間	選考試験日	合格発表日	※一般選抜1期1月30日(土)は、高崎試験場を含む地域試験場がございます。 ※出願方法はインターネット出願です。
※詳細は必ず「入学試験要項2021」をご確認ください。	一般選抜1期 2020年12月17日(木)~ 2021年1月20日(水)	【試験日自由選択制】 1月30日(土) 2月1日(日) 2月2日(月)	2月6日(土)	

八王子キャンパス広報グループ
お問い合わせ先 TEL: 0120-508-739 〒192-0395 東京都八王子市大塚 359 URL: http://www.teikyo-u.ac.jp

地域の宝を掘り起こす！観光事業支援

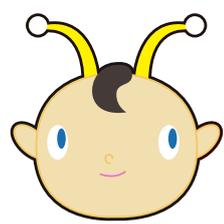
まちづくりラボ・サルベージ株式会社
Salvage

- ・観光事業 (PR) 支援
- ・イベント企画・運営支援
- ・特産品を活用した商品
ご当地メニュー開発
- ・観光市場調査

「伊勢崎市境島村まちづくり推進事業委託」他各地でお世話になっております。

弊社公式ページ
東京都町田市中町1-22-7
Tel. 042-729-8618 Fax. 042-729-8619

マーチの独り言



あけましておめでとうございます。
10月よりまっちゃん〜ズの一員になりました石井です。前橋駅の近くに住んで30年になります。駅前のケヤキ通りは生活圏内ですが、この30年の間にたくさんのものが消えていきました。大型ショッピングセンター、喫茶店、本屋、パン屋、食堂、クリーニング店、映画館・・・住民も世代交代であちこちが空き地になりコインパーキングに変わりました。過疎化とは山奥の話だと思っていましたがまさに身の回りで起きています。いっそのこと駅前をセントラルパークみたいな大公園にしたら良いのに、なんて思うこともあります。この機会に改めてまちづくりについて考えてみたいと思います。どうぞよろしくお願いたします。

有料広告を随時募集しています。詳細につきましては、下記のお問い合わせ先まで、お気軽にご連絡下さい。

【お問い合わせ先】
群馬県国土整備部都市計画課まちづくり室(企画推進係) TEL 027-226-3661 URL http://www.pref.gunma.jp/06/h5810001.html